

本増圧機（ガスブースター、圧縮機）は、工場エア [Min : 0.4(MPa)] のみで高圧ガス等を製造可能なエア駆動方式ポンプです。チューブ、ホース、圧力計、バルブ、安全弁等の気密/耐圧試験にご利用頂けます。2016年10月より製造開始した独自のダブルチェック弁は圧力保持に優れていることから、駆動回数は減少し、耐久性向上の評価を頂いております。

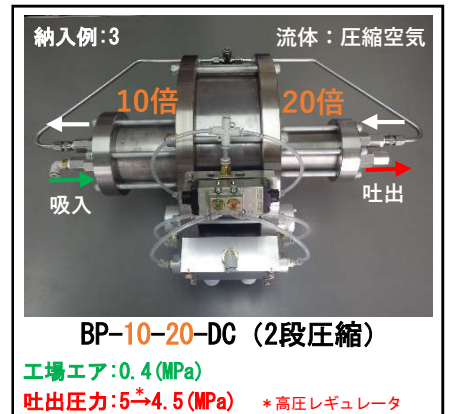
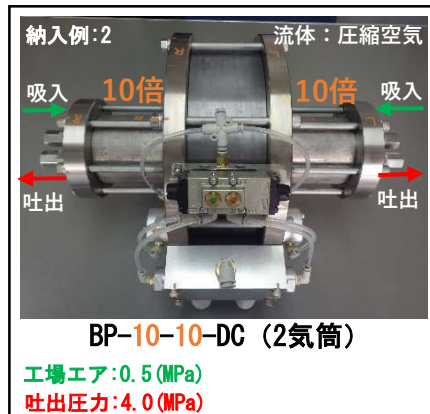
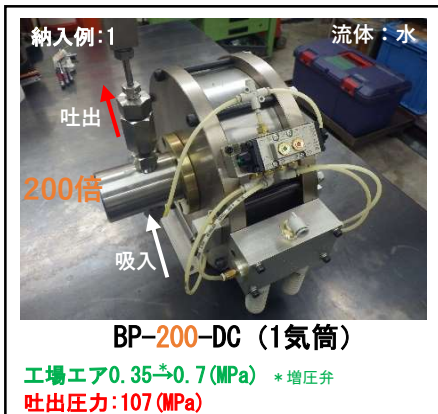
増圧機性能概要

ピストン作動数：無負荷時 最大30(回/min)

増圧機型式	シリンダ 内径 (mm)	ストローク (mm)	シリンダ 容積 (cc)	作動エア圧力 P (MPa)	倍率 m (倍)	吐出圧力 P×m (MPa)	流体	
							圧縮空気 不活性ガス	水、油
BP-5-DC	100	50	392	0.1~0.7	5	~3.5	○ ガスブースター	×
BP-10-DC	70		192		10	~7		
BP-20-DC	50		98		20	~14		
BP-30-DC	42		69		30	~21		
BP-65-DC	28.4		31		65	~45.5		
BP-100-DC	22		19		100	~70		
BP-200-DC	16		10		200	~140	× 圧縮機	○
BP-260-DC	14		7.7		260	~182		
BP-520-DC	10		3.9		520	~364		
BP-800-DC	8		2.5		800	~560		

選定例： BP - 10 - 20 - DC
(倍率) (倍率) (ダブルチェック弁)

*在庫がある場合、デモ機お貸し致します。



2気筒の特徴	1気筒に対して、2倍の高圧ガス製造量になります。
2段階圧縮の特徴	吸入圧力が低すぎる場合、1気筒では吐出圧力が目標圧力に達しません。 2段階圧縮により、1台の増圧機で目標圧力に到達可能です。(詳細はご相談下さい)

* 参考計算式 (圧縮空気、不活性ガスの場合)

高圧ガス製造量(Nℓ/min) = 吸入圧力(MPa) × 9.8 × [シリンダ容積(cc) × 気筒数 × 作動回数(回/min) / 1000]

増圧機に必要な工場エア

工場エア圧力 (MPa)	消費エア量 (L/min)
0.4	480
0.5	600
0.6	720
0.7	840

* ピストン作動数：無負荷時 最大30(回/min) で計算

高圧ガス保安協会(KHK) 受験可能

〒232-0056 神奈川県横浜市南区通町2-37 1F
合同会社吉田高圧機械
TEL:045-712-1532
FAX:045-325-7498
E-mail : eigyou@y-h-p.co.jp
http://www.y-h-p.co.jp